

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			
1	カラー ページ 1	後面	<p>やくし 薬指</p>	<p>やくし かんし 薬指(環指) (挿入)</p>	
2	10	豆知識 3	<p>③2022年の15～64歳女性の 就業率は<u>73.0%</u></p>	<p>③2024年の15～64歳女性の 就業率は<u>74.1%</u></p>	

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由																																																
	ページ	行																																																			
3	48	図 1	<p>図1 衣類等の洗濯表示記号の例</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる</td> <td></td> <td>タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)</td> <td></td> <td>底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる</td> <td></td> <td>低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)</td> <td></td> <td>底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる</td> <td></td> <td>タンブル乾燥禁止</td> <td></td> <td>底面温度 110℃を限度としてアイロン仕上げができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、手洗いができる</td> <td></td> <td>つり干しがよい</td> <td></td> <td>アイロン仕上げ禁止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>家庭での洗濯禁止</td> <td></td> <td>ひかげ 日陰のつり干しがよい</td> <td></td> <td>パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる</td> <td></td> <td>ぬれつり干しがよい</td> <td></td> <td>石油系溶剤によるドライクリーニングができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止</td> <td></td> <td>平干しがよい</td> <td></td> <td>ドライクリーニング禁止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止</td> <td></td> <td>ぬれ平干しがよい</td> <td></td> <td>ウェットクリーニングができる</td> </tr> </tbody> </table>				液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる		タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)		底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げができる		液温は 40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる		低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)		底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げができる		液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		タンブル乾燥禁止		底面温度 110℃を限度としてアイロン仕上げができる		液温は 40℃を限度とし、手洗いができる		つり干しがよい		アイロン仕上げ禁止		家庭での洗濯禁止		ひかげ 日陰のつり干しがよい		パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる		塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる		ぬれつり干しがよい		石油系溶剤によるドライクリーニングができる		酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止		平干しがよい		ドライクリーニング禁止		塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ぬれ平干しがよい		ウェットクリーニングができる
	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる		タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)		底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げができる																																																
	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる		低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)		底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げができる																																																
	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		タンブル乾燥禁止		底面温度 110℃を限度としてアイロン仕上げができる																																																
	液温は 40℃を限度とし、手洗いができる		つり干しがよい		アイロン仕上げ禁止																																																
	家庭での洗濯禁止		ひかげ 日陰のつり干しがよい		パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる																																																
	塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる		ぬれつり干しがよい		石油系溶剤によるドライクリーニングができる																																																
	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止		平干しがよい		ドライクリーニング禁止																																																
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ぬれ平干しがよい		ウェットクリーニングができる																																																

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由																																																
	ページ	行																																																			
3 (かきこ)	48	図 1																																																			
<p>図1 衣類等の洗濯表示記号の例</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる</td> <td></td> <td>タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)</td> <td></td> <td>底面温度 210℃を限度としてアイロン仕上げができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる</td> <td></td> <td>低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)</td> <td></td> <td>底面温度 160℃を限度としてアイロン仕上げができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる</td> <td></td> <td>タンブル乾燥禁止</td> <td></td> <td>底面温度 120℃を限度としてアイロン仕上げができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>液温は 40℃を限度とし、手洗いができる</td> <td></td> <td>つり干しがよい</td> <td></td> <td>アイロン仕上げ禁止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>家庭での洗濯禁止</td> <td></td> <td>ひかげのつり干しがよい</td> <td></td> <td>パークロロエチレンまたはジプトキシメタンもしくは石油系溶剤またはデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる</td> <td></td> <td>ぬれつり干しがよい</td> <td></td> <td>石油系溶剤またはデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止</td> <td></td> <td>平干しがよい</td> <td></td> <td>ドライクリーニング禁止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止</td> <td></td> <td>ぬれ平干しがよい</td> <td></td> <td>ウェットクリーニングができる</td> </tr> </tbody> </table>							液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる		タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)		底面温度 210℃を限度としてアイロン仕上げができる		液温は 40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる		低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)		底面温度 160℃を限度としてアイロン仕上げができる		液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		タンブル乾燥禁止		底面温度 120℃を限度としてアイロン仕上げができる		液温は 40℃を限度とし、手洗いができる		つり干しがよい		アイロン仕上げ禁止		家庭での洗濯禁止		ひかげのつり干しがよい		パークロロエチレンまたはジプトキシメタンもしくは石油系溶剤またはデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる		塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる		ぬれつり干しがよい		石油系溶剤またはデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる		酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止		平干しがよい		ドライクリーニング禁止		塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ぬれ平干しがよい		ウェットクリーニングができる
	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で洗濯ができる		タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)		底面温度 210℃を限度としてアイロン仕上げができる																																																
	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる		低い温度でのタンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)		底面温度 160℃を限度としてアイロン仕上げができる																																																
	液温は 40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		タンブル乾燥禁止		底面温度 120℃を限度としてアイロン仕上げができる																																																
	液温は 40℃を限度とし、手洗いができる		つり干しがよい		アイロン仕上げ禁止																																																
	家庭での洗濯禁止		ひかげのつり干しがよい		パークロロエチレンまたはジプトキシメタンもしくは石油系溶剤またはデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる																																																
	塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる		ぬれつり干しがよい		石油系溶剤またはデカメチルペンタシクロシロキサンによるドライクリーニングができる																																																
	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止		平干しがよい		ドライクリーニング禁止																																																
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ぬれ平干しがよい		ウェットクリーニングができる																																																

番号	訂正箇所	
	ページ	行

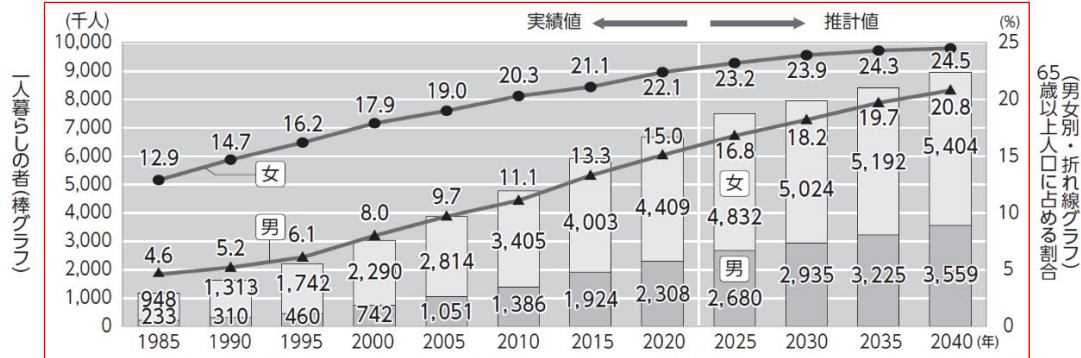
4	58	図 1
---	----	-----

原 文

訂 正 文

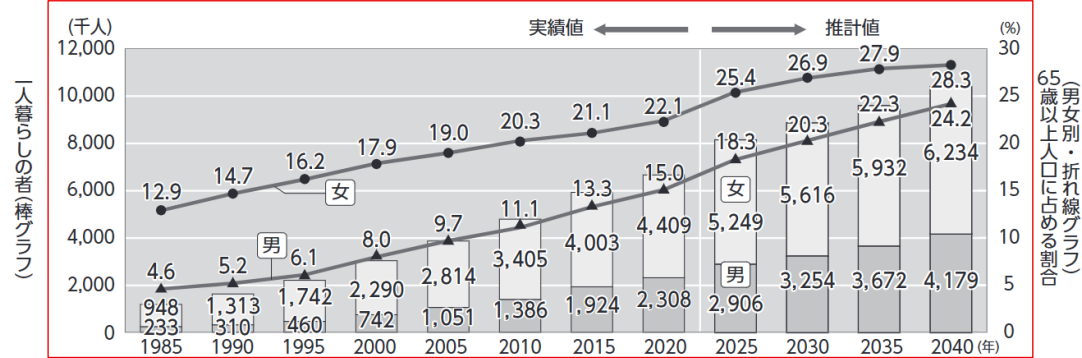
訂 正 理 由

図1 65歳以上の一人暮らし高齢者の動向







(注) 1— 2020年までは総務省「国勢調査」による人数、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2018年推計」による世帯数
 2— 「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」または「一般世帯(1人)」のことをさす。
 内閣府「高齢社会白書(2022年)」による

図1 65歳以上の一人暮らし高齢者の動向



(注) 1— 2020年までは総務省「国勢調査」による人数、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2024年推計」による世帯数
 2— 「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」または「一般世帯(1人)」のことをさす。
 内閣府「高齢社会白書(2025年)」による

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			
5	93	図 8	<p>図8 食事の支援</p> <p><u>右手でスプーンを持つ</u></p>  <p>▲<u>右側から支援する場合</u></p>	<p><u>左手でスプーンを持つ</u></p>  <p>▲<u>左側から支援する場合</u></p>	
			<p>図8 食事の支援</p> <p>右側から支援する (右手でスプーンを持つと利用者にとって自然な食べ方となる)</p>  <p>▲<u>健側が右側, または右利きの利用者の場合</u></p>	<p>左側から支援する (左手でスプーンを持つと利用者にとって自然な食べ方となる)</p>  <p>▲<u>健側が左側, または左利きの利用者の場合</u></p>	

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			

6	154	図 1	<p>図1 日本人の死亡場所の推移</p> <p>(注) 1 介護施設は、介護老人保健施設、介護医療院、老人ホームを合計したもの。 2 1990年までは老人ホームでの死亡は自宅またはその他に含まれる。</p> <p>厚生労働省「人口動態統計(2020年)」より作成</p>	<p>図1 日本人の死亡場所の推移</p> <p>(注) 1 介護施設は、介護老人保健施設、介護医療院、老人ホームを合計したもの。 2 1990年までは老人ホームでの死亡は自宅またはその他に含まれる。</p> <p>厚生労働省「人口動態統計(2023年)」より作成</p>	
---	-----	-----	---	---	--